

ITは災害被害を減らせるか？

～新潟県中越地震に思うこと～

災害時に強い公衆電話

携帯電話の普及に伴い、公衆電話が減っています。

しかし、これはとても不安なことです。

なぜなら、[公衆電話は災害時につながりやすくなっている](#)からです。

災害時に優先的につながる電話は、消防、警察、官公庁、公共機関の一部の回線に設置されているそうです。

公衆電話がなくなっている、ということとは、災害に弱くなっていると言えなうもないのです。

ITは電気を使うから、災害に弱い

インターネットは、災害時、被災地ではほとんど使えないと思われまう。

なぜなら、停電していると使えないからです。無停電電源装置で自分のPCやルーターは動いたとしても、途中一ヶ所でも停電で使えない機器があれば、インターネットは使えません。

電気が復旧したら、ITは大活躍します。しかし、電気が復旧するまでの一番重要

な時間帯に、インターネットは使えないのです。

意外に使える、携帯メール

NTTのページにもありますし、そして新聞でも報道されましたが、携帯電話のメールは、割とつながったようです。

音声通信に比べて、データ通信は容量が少なくてすみますし、交換機も必要ないので、つながりやすいと思われまう。

災害に強いITにするために

自動車は走るためのものですが、環境にやさしい自動車が売れているように、話すための携帯ですが、災害に強い携帯電話を売り出したらどうでしょう。

普段は通常の携帯なのですが、ひとたび被災地に入ると、衛星を使う、衛星携帯電話になるような機種があったら、とても役に立つのではないのでしょうか。

地球上の災害にはすごく強そうです。

ITはもっと、無線を考えていかなければならないと思われまう。

私は、母の故郷が新潟ということもあり、今年には法事で3回新潟市に行きました。今回被災にあわれた地域は、新幹線で行くときも通りますし、自動車で行くときも通る地域です。

新潟県中越地震で不幸にも命を落とされた方々のご冥福をお祈りし、被災地の皆様にお見舞い申し上げます。